

感染症予防対策

災 害時には感染症の拡大リスクが高まります。命を守る避難行動を起こす際には、感染症への対策も気を付けなければなりません。

「災害から身を守る」と「感染症予防対策」双方に注意することを考えましょう。

◆避難先を家族で話し合っておこう

避難とは「難」を「避」けることです。安全な場所にいる人は、避難場所（一時的に避難する広場など）や避難所（避難生活をする施設）に行く必要はありません。災害の危険性がなく、家にいることが安全な場合は、無理に避難せずに、家で避難（在宅避難）をしても大丈夫です。ただし、地震などの大規模災害の場合は、地域の自主防災会に滞在場所を伝えてから家に戻りましょう。

また、安全な場所に住む親せきや知人に避難することができる場合は、普段から避難先の確認や相談をしておきましょう。



◆避難前に健康状態の確認

息苦しさ、強いだるさ、発熱や風邪の症状などがある場合や、新型コロナウイルス感染症の軽症者など（自宅療養者・濃厚接触者）は、避難する前に豊川保健所の帰国者・接触者相談センターへご相談ください。

帰国者・接触者相談センター
☎(0533)863177

◆避難所での新型コロナウイルス感染症対策を紹介します

- 避難者の健康状態に合わせて各スペースを用意します
- 居住スペースと体調が優れない方向けの専用スペースを分けて設置します。



● 避難者への声掛け

マスク着用、手指消毒、検温などの声掛けをします。

● 衛生・感染症対策物品を確保しています

マスク、アルコール消毒液、使い捨て手袋、フェイスシールド、体温計、間仕切りなどを用意しています。

◆非常用持出袋に

感染症対策の持ち物を追加しよう

災害が起きそうなきや起きてしまった際に、すぐに避難できるようにあらかじめ用意してある非常用持出袋に、感染症対策の持ち物を追加しておきましょう。

避難時の持ち物

◎通常用意してある主な持ち物

水、食料、懐中電灯、乾電池、予備の眼鏡、常備薬、おむつ、女性用品、小銭など

◎感染症対策として追加したい持ち物

マスク、アルコール消毒液、体温計、ウェットティッシュなど



※非常用持出袋のより詳しい持ち物リストを、20ページの「ヘルシーナの健康応援ナビ」で紹介していますのでぜひご覧ください

安心安全ほっとメールの登録を!!!

携帯電話やスマートフォン、パソコンに市からの「防災情報」、「防災行政無線情報」、「防犯情報」をお知らせするメール配信サービスです。市からの情報を確実に受け取るために安心安全ほっとメールの登録をしてください。

◎登録方法

右のQRコードを読み取るか専用アドレス (✉bousai.tahara-city@raidan.ktaiwork.jp) に空メールを送信

↓
登録案内受信

↓
必要事項を入力して登録(無料で登録できます)



登録用QRコード
(空メールを送信)

